

1 班 笹塚下 町会

班員名：王、江端、松本、矢澤

<学んだこと>

笹幡地域の特徴。笹塚下の町長は仕事が大変。

町長はなりたくてやってるものじゃない。

公園の仕組み

高齢者が多い→若者が少ない

町会は沢山の人の協力で成り立っている。

<笹幡地域に生かせること>

ゴミ出しの分別

自然を増やす

地域の人々と交流する

挨拶を増やす

<感想>

笹幡地域について何が苦勞したかどこが大変でどこが問題なのかについて詳しく説明していただき、わかりやすかった。

街のために沢山考えてくれてありがたみを感じた。

笹幡地域についての改善がわかった。

笹塚下の町長はとても苦勞する役割。

普段話せない人と話せていい経験になりました。

2班 笹塚親興 町会

班員名：・黒木・大堂
・肖　・山口

<学んだこと>

- ・町会長の人たちがどのように笹塚地域をよりよくしていこうとしているのかを学ぶことができた。
- ・笹幡地域についてより深く知ることができた。
- ・笹幡地域の活動内容について知ることができた。
- ・笹塚の良いところ、悪いところを知ることができた。

<笹幡地域に生かせること>

- ・町会長の人たちが、「挨拶が多いところは、犯罪がすくない」と言っていたので、挨拶を積極的にする。
- ・笹塚地域のイベントを増やして、地域での交流や、移住者を増やす。

<感想>

- ・自分は、今までただの地元と思っていた。だけど、今回の交流会で深く知ることができた。そして、町会長の人たちと話し合うことはもうないだろうから、今回の貴重な経験を生かして笹幡地域をよりよくしていきたいと思った。（山口）
- ・今回、笹幡のことについてほとんど知らなかったが、今回の交流会を通してどのような活動をしているのかを知ることができた。町会での交流を増やすために、イベントに多く参加していきたいと思った。（大堂）
- ・笹幡地域について深く理解することができた。（肖）
- ・質問ができてよかった。笹幡地域のことについて知ることができてよかった。（黒木）

3班 笹塚上 町会

班員名：大久保 久保田 窪
松川

<学んだこと>

近所であいさつすることで犯罪が減少

街をきれいにすることで犯罪が減少

建物が多くなって緑が少なくなっている

<笹幡地域に生かせること>

あいさつ活動 掃除のボランティア活動

建物の屋上に緑を増やす

↓↓↓

皆で協力することが大切

<感想>

笹幡地域の現在の取り組みや今後のことについて理解が深まったので地域に協力していきたい

普段、懲戒の人と関わる機会がなかったので実際に意見を提案したり朝会の話聞かせてもらったりしてとてもいい機会になった

この町の安全を守れているのは地域の人たちの協力があるからだと思った。みんなの声を聴くところを設けなかったと言っていた→声を聴くところに自分たちが参加し、アイデアを出したいと思った

4 班 幡ヶ谷中町町会

班員名：外山萌生 山口璃々彩
柏木愛夢 鈴木紬

<学んだこと>

緑を必要としている。若者に期待している。
商店街が以前より減って寂しい→町をよりもりあげたい
子供を中心に活動をしていた

<笹幡地域に生かせること>

緑を増やす。
若い世代に頼んでSNSを駆使したい。
子ども食堂で子供との交流を深める。
街灯を増やし、防犯対策。

<感想>

スムーズに話は進んで、町会長の方
と行ったほうがよいことについて考
えていることが同じだった。また、
今後の地域の活気を増やすために、
若い世代も協力して積極的に活動に
参加していくことが大切だと思った。

5班 西北 町会

班員名：五十嵐、松野、宮崎、
江本、水上

<学んだこと>

笹塚の中でも住宅が多い方だから近隣の人と仲が良い
違う区から出勤する人がごみを道路に捨てている
団結力があり運動会や祭りを行われている
少子高齢化

<笹幡地域に生かせること>

夜に聞こえる騒音や道路にごみを捨てる人へ強く注意喚起を
する
お年寄りの安全確認のためすれ違った人に挨拶をする
自助と共助を率先して行う

<感想>

自分が知らない昔の笹塚や笹塚の現
状を教えてもらい笹塚についてより
深く知れた

いろんなことを考えているんだなと
思った

人がいいと思った

笹幡地域の良さを改めて理解したり、
課題を知って自分たちにできること
を考えることができた

6班 笹塚仲 町会

班員名：藤森 吉岡
保泉 中村

<学んだこと>

- ・笹塚がこれまでに積み上げてきた歴史や文化、未来の姿について。
- ・災害のときの自助、共助のために地域の人との関わりを増やした方がいいということ。
- ・発展するのはいいことだけではないということ。

<笹幡地域に生かせること>

- ・これからの行事に「笹幡らしい・笹塚にしかない」を加えること。
- ・地域の行事に積極的に参加する。

<感想>

- ・商店街や、地域（上・仲・下）などの名前の由来について知ることができた。
- ・町会長の方の笹塚に対する気持ちを知ることができた。
- ・この交流会を通して歴史や文化などについて深く考える機会があった。
- ・町会がある理由や、笹幡地域の長所や短所について知ることができた。

7班 幡ヶ谷 町会

班員名：野田 北山 小林
松原 ストークス

<学んだこと>

- ・防災重視
 - 貯水タンク 避難所
- ・放置自転車減らす
 - 駐輪場増やす
- ・サミットなどが多い
 - 物価低い
- ・自転車事故を減らす
 - 自転車レーン ヘルメット
- ・新宿が近いから住みやすい
- ・世帯が一番多い

<笹幡地域に生かせること>

- ・道路を広くする
- ・街をきれいにする

<感想>

- ・普段会うことない町会長の方に来て新鮮だった
- ・町民のためにいろいろ考えていることが分かった。子供の意見が大切だということを知っていたので、意見をだしていきたいと思った。
- ・幡ヶ谷のことを知り、悪いところを改善し、もっといい街にしたいと思った

8班 北親 町会

班員名：日野・山城
高橋・寺本

<学んだこと>

- ・中町町会と北親町会は親しい関係にある
 - ・何か起きた時(災害とか)に頼りになるのは **ご近所さん**
- ➡町会に入って助け合うこと(**共助**)が大切
- ・ **地震**の原因と対策

<笹幡地域に生かせること>

- ・住宅街だからこそ、人と人とのつながりを深めて、**共助**を進めていくこと
- ・この地域の**特産品**を製造して、知名度を上げること
- ・地域のキャラクターを作ること
- ・町会に所属する世帯数を増やすこと

<感想>

自分達が見ていない所で、様々な活動をしてくださっている町会に対し、**ありがたい**と思った。

この地域の課題を知り、まだまだ伸びしろがあると思った。

町会では、色々なことをしているが、そのほとんどが住民に知られておらず、町会の重要性が伝わっていないと思った。大人だけが町を作っていくのではないから、その地域に住む中学生としてもできることはあると思った。特に、**挨拶**などは地域を明るくしていくから、積極的に取り組んでいこうと思った。

9班 幡ヶ谷西 町会

班員名：内藤、永戸、松嶋
秋元(み)、小野崎

<学んだこと>

町会は防災に力を入れている。

地域の人とのかかわりや結びつきを大切にする。→定期的に行う
街がきれいになる取り組み(汚いほど犯罪が多くなる)

関わる若者が足りない→次世代を担う人がいなくなってしまう
いろいろな行事を開催している。

<笹幡地域に生かせること>

防災に対する取り組みや意識を強める。

地域の美化活動の強化→若者が積極的に取り組む。

若者が町会に入りやすくする。

笹幡地域全体でのイベントの開催→次世代に繋げる取り組み

<感想>

町会では様々な仕事を積極的に行動するが言葉だけで行動に移さない奴がいる。学生が積極的に町会の活動に取り組んでいく。町会の人と関わる。町会長と関わる貴重な機会。町会に入るメリットを知る。町会に対する印象を変えていく。

笹幡地域の取り組みを今まで知る機会がなかったので在住していても知らない人は多数いると思った。取り組みを知らない若者が多いからボランティア等で地域に貢献している人が少ないのではないかと考えた。

笹幡地域は良い町である。

10班 笹塚昭和 町会

班員名：菊池大耶
駒谷陽希
中畑隆太

長谷川果歩
森垣碧葉

<学んだこと>

- ・僕たちが知らないだけで防犯対策がされていること
- ・町会の仕組みのこと
- ・主に地域のために動いてボランティアとして防災、交通安全、美化推進活動、体育活動などを行っていること
- ・町会長は時間に余裕がある人で地域の賛同があって選ばれたこと

<笹幡地域に生かせること>

- ・ポイ捨ての対処
- ・町会の仕事を特に若い人たちに知らせる
- ・地域専用のプリント作成

<感想>

僕たちが知らない地域の工夫やこれからの町と言った色々な町関係の発展に気づきました。たくさんのプリントを用意してくださったうえに僕たちの質問をまとめてくださったことがありがたかったです。

僕は全然渋谷区のことを知らなかったのですが、今回の話し合いの場を通して、渋谷区の主に防災、防犯の対策について知ることができました。質問はできなかったのですが、渋谷区の歴史にも少し触れてくださっており、とても興味深い内容で、聞いていて楽しかったです。

各町会ごとで集まって、情報交換や美化推進活動などの清掃やゴミ拾いなど普段暮らしている中の裏側で町会長たちがこんなことをやってくれていたのかと思うことがたくさんあったのでとても貴重な時間でした。

1 | 1班 その他① 町会

班員名：池部瑛大
大原菜月 小島杏梨

<学んだこと>

もともとごみ箱は多かったが少なくなっている
街の工場が多かったが最近ではサラリーマンが多い
地域であいさつやかかわりを増やすことで犯罪が起きる危険性が減るからいろんなイベントをしたほうがいい

<笹幡地域に生かせること>

挨拶を増やす
地域でのイベントに参加する
個人のお店を増やす

<感想>

笹幡地域は挨拶をいつも返していて、それが当たり前だと思っていたけど、この挨拶がこの地域の特徴だったということを知らなかった。

でもこの挨拶があることによって犯罪も少なくなるんだと知る事が出来た。

笹幡地域でのたくさんのイベントも地域で人見知りになる事で地域とのかかわりを増やし、さらに町が明るくなると思った。

12班 その他② 町会

班員名：金井、秋元(駿)、雨尾

<学んだこと>

緑がないと言いつけたが、他の都市部に比べれば比較的緑が多いこと。

少子高齢化はあるものの、人口は減るのではなく少しずつ増えていく傾向にあること。

この地域は物価が安いこと。

東京都の中でどのような場所なのか

<笹幡地域に生かせること>

それでもゴミが多かったりするので拾うボランティアも大事だが、まずは自分がポイ捨てしないこと！…とか？

住みやすい町がどのようなものなのかを考えて実行すること。

<感想>

今回の町会長交流会では、普段話せない特別な人物との対談で、私たちは笹塚出張所所長の野村様との対談でした。野村様との対談では、本筋の質問とちょっとした雑談だったのですが、その中でもしっかり得られるものはあったかなと思います。緊張もしましたが充実していたのではないかと思います。他の地域と比較することで、笹幡地域が住みやすい街だと感じる事ができました。